

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援 ワンハート		公表日 2026年 3月 23日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	国の定められる基準でスペースを確保しています。	曜日によって人数にばらつきがある為、多い日は、物の配置に改善が必要です。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	国の定められる基準で職員の配置をおこなっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	活動内容に応じて2部屋を使い分けることで環境を構造化し、子どもが落ち着いて過ごせるよう工夫しています。	室内でのサッカー教室の際は狭いと感じることもあるため、空間の工夫をしたり、戸外で実施する必要があります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	部屋の数が少ない為、マットなどで区切る等の工夫をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		時間を見つけて行っていますが、定期的に行えるように時間の工夫が必要です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	保護者向け評価表を通してご意向を把握し、職員間で共有・検討の上、業務改善に反映しています。	改善内容は随時周知していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	朝礼や昼礼で、振り返りや支援方法の共有、業務日報による情報共有を通して職員の意見を把握し、業務改善に努めています。	パートスタッフの意見を把握する機会が少ないため、意見を把握できるように時間の工夫を考えたいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者による外部評価はおこなっています。今後は外部評価野導入を検討していくことが課題です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	ジョブメドレーの導入で個々に研修を受けることができています。	職員の研修時間を増やせるように時間の確保が課題です。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	株式会社波音のホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1	日々の活動の様子や、保護者様からのニーズに基づく計画の作成をおこなっています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	会議や朝礼、書面などで保護者様からのニーズを共有し、職員間で共通理解をはかりながら支援計画を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	評価ツールと日々の観察・記録を合わせて子どもの状況を確認し、支援に反映しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	ガイドラインの視点を踏まえて必要な支援項目を設定し、具体的な支援内容を計画に反映しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		会議を設定しは職員間で話し合い、子供の発達や興味を踏まえてチームで立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		子どもの状況や興味に合わせて活動内容を見直し、季節行事や新しい教材を取り入れる等固定化しない様工夫しています。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、計画的に支援を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		時差出勤、送迎などにより、全職員でまとまって実施することが難しい日もあるため課題です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援終了後には、話し合いの時間を持っていないことが多いため、翌日の朝に話し合いをおこなって記録に残すようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	記録を残し、振り返り、反省をおこなって支援の改善に活かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて、支援計画の見直しを実施しています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		こどもの状況をよく理解している職員が会議に参加し、具体的な情報共有を行っています。	会議内容を支援に反映させる体制づくりが課題です。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	必要に応じて園訪問へ行き、情報共有をおこなっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	関係機関と情報共有を行いながら相互理解を深め、安心して移行が行えるよう支援しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		センターと連携し、必要に応じて助言を受けながら支援の向上に努めています。	助言を受ける機会が不定期であるため、今後は計画的・継続的な連携体制を整えることが課題です。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		交流機会はないため、今後は交流の場づくりを検討していくことが課題です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々のやりとりや面談を通してこどもの状況を共有し、発達や課題について共通理解を図っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		今後は学びや情報提供の場を設けることが課題です。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に運営規定や支援内容、利用者負担について丁寧に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	計画作成時に子どもやご家族様の思いをうかがい、より良い支援に繋がるよう計画に反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	日ごろから保護者様との関係を大切に、相談しやすい雰囲気作りを心がけています。必要に応じて面談に専門職員を配置して助言をさせていただいております。	
	保					

護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		今後保護者会を開催し、保護者同士が交流できる機会を設けていく予定です。情報交換や悩みの共有画できる場となるよう配慮していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		安心して相談できる体制を整え、相談があった際には対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		ブログや、日々の記録を通して活動内容や子供の様子を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の管理を徹底し、適切な取り扱いに十分留意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子様や保護者様の状況に応じて伝え方を工夫し、円滑な意思疎通に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		未実施のため今後の検討課題です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		5	各種マニュアルを整備し、様々な想定の実地訓練を実施して対応力の向上に努めています。	保護者様への周知はおこなえていないため、今後の課題です。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、年間計画に沿って定期的に避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全計画を策定し、研修や訓練を実施するなど、安全管理を徹底した中で支援を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		5	活動の取り組みについては、アプリ内の活動案内で報告しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット発生時は報告書を作成し職員間で共有、際は再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年に2回以上の研修を行っています。全事業所でメンタルヘルス研修にも参加して職員の心身の安全確保に努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		ご利用契約時に、保護者様に説明を行い同意書をお願いしています。個別のケースに対して個別支援計画に記載し保護者様に事前に了解を得ています。		